

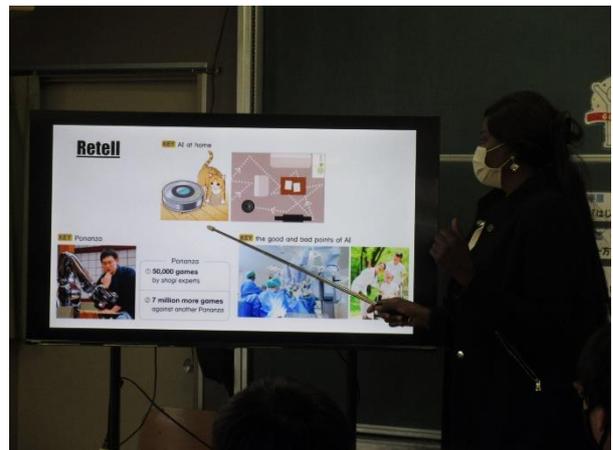
# 白岡市立菁莪中学校

英語

単元名 「Program7 Is AI a Friend or an Enemy?」 第3学年



授業の最初にALTとsmall talkをしている場面  
(会話のモデルを提示し、生徒とねらいを共有)



リテリングへの手立てとして、生徒がALTとやり取りをしながら本文の内容を振り返っている場面

## 参会者アンケートから

研究会のあり方・全体的な感想

### 【授業について】

- リテリングの指導方法を知ることができて、大変参考になりました。
- テーマに対して、自分の意見や考えを伝える姿を見て、大変感動しました。眞中先生が英語でのやり取りの学習を積み重ねてきたことが分かり勉強になりました。
- ICTの効果的な活用や言語活動をより良くするための手立てとして中間指導をやってみたいと思いました。
- フィードバックや声掛け、授業構成等々、様々な点を意識して授業準備していることがわかりました。
- 久しぶりの授業研究会でとても刺激になりました。
- ICTを最大限に活用した授業で、大変参考になりました。また、ALTの活用方法も勉強になりました。
- リテリングに挑戦したことはありますが、あきらめていた部分もあります。私も根気強く頑張りたいです。





【協議について】

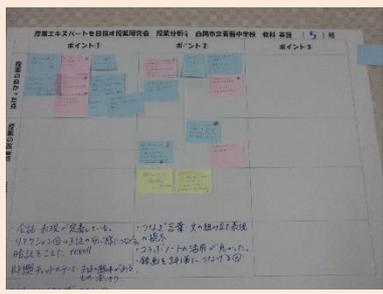
- リテリングを効果的に行うための手立てについて協議できました。音読だけではリテリングに繋がらないので、中間指導等の様々な工夫をし、指導していくことが大切だとわかりました。
- ICT を効果的に活用していました。話したことを基に、タブレットに自分の言葉でまとめて英文を書いていました。「話したこと→書くこと」という技能統合型の授業で勉強になりました。
- 真中先生の授業が素晴らしく、質問がたくさん出ました。自分たちの学校の生徒も変容するように、授業に磨きをかけていきます。
- 評価テストについて学びました。定期テストの内容については私自身も考えなければなりません。「知識・技能」を評価する問題と「思考・判断・表現」を評価する問題を区別して、内容を考えしていきます。
- 同じ悩みや疑問を共有でき、活発な意見交換をすることができました。
- 他の学校での授業の進め方や使用している教材などについても話せました。今日の授業に関しても意見交換ができて、勉強になりました。
- 他の先生方からの話を聞くことで、考えや理解を深めるとともに、新しい視点を持つことができました。



『私の授業の観てほしいポイント』に沿った研究協議



各班の協議内容の発表



授業分析表